

# 大阪府高槻市（中核市）

## 就労準備支援事業 就労体験を中心とした取組

### 1 市の概要（H30年度）

人口 351,741人  
保護率 1.7%

※協力事業所数34か所  
(民間企業26か所、社会福祉法人8か所)

### 2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当(件) 一月当たり 16.8  
プラン作成件数人口10万人当(件) 一月当たり 3.1  
就労支援対象者数人口10万人当(件) 一月当たり 2.0  
就労・増収率(%) 74.7

### 4 事業実績（H30年度）

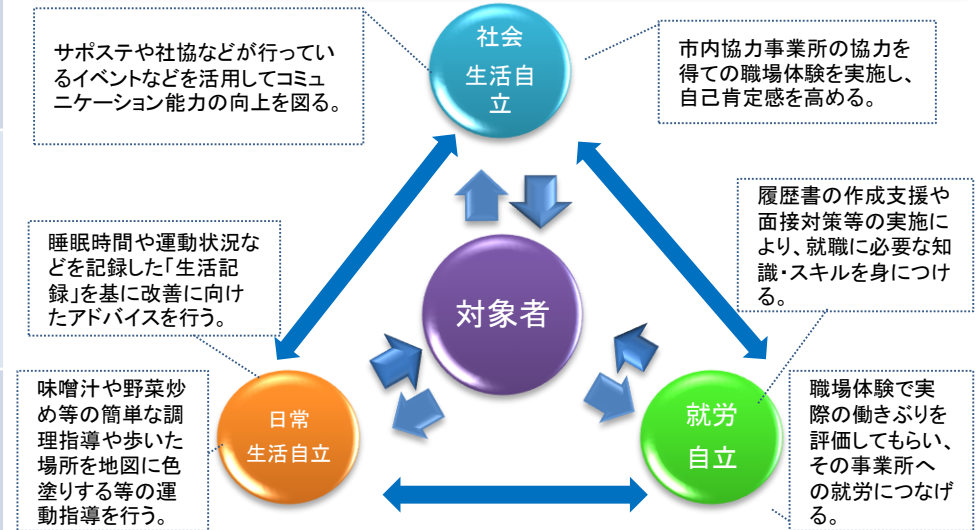
	利用者	就職者	体験就労 利用者数	ハロー ワーク等 へのつな ぎ	自立相談 就労支援 へのつな ぎ	支援終了
生活困窮者	5人	4人	5人	3人	3人	0人
被保護者	27人	15人	24人	16人	0人	20人

### 3 実施方法について

実施方法	直営（自立も直営で一体的実施、被保護とも一体的実施）
事業費	4,285千円（困窮：2,439千円、被保護：1,846千円）
理由 (直営)	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との連携が図りやすい。</li> <li>委託では指揮命令系統が異なるため、迅速な対応が難しいが、直営では即座の対応が可能である。</li> <li>長期的に安定した支援を行うことができる。</li> </ul>
課題 ⇒対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援員の資質等に頼るところが大きく、人材確保が課題。</li> <li>⇒ハローワークやカウンセラー養成校等に広く広報し、障がい者支援の経験がある、経験豊富な者を採用できた。</li> <li>支援メニューが個別支援に限られている。</li> <li>⇒他機関と連携を図り解決。（サポステの協力を得てグループワークを活用、市内協力事業所の協力を得ての職場体験の実施等）</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活記録を基に食生活・運動指導により日常生活の自立を図り、支援員とのコミュニケーショントレーニングや市内事業所と連携した職場体験等の実施により社会生活の自立を図る。また、履歴書の作成支援や面接対策等の実施により就労自立を図る。</li> <li>支援対象者が希望する企業を開拓する「オーダーメイド型」の職場体験を実施。</li> <li>職場体験の受入企業には協力金（1日3,000円）を支出。また、傷害・賠償保険は市で加入。</li> </ul>
その他 特記事項	自立相談支援窓口隣接しているハローワークの常設窓口と連携し、一体的な就労支援を実施。

### 5 事業実施のポイント～直営を活かし機動的に他機関と連携～

**Point**  
ハローワークやサポステ等自治体の持つ関係機関とのコネクションを活かして事業を効果的に実施



### 6 取り組んで良かったこと

- 就労支援の対象者を幅広く考えられるようになった。
- 今まで市内事業所との関わりは労働部門が担っていたが、福祉部門も関わることで、市と市内事業所の関係性がより強固になった。